

Y02b 県立ぐんま天文台の建設状況

橋本修、古在由秀、清水実、淡島静男、下田明英、倉田巧 (県立ぐんま天文台)、群馬県教育委員会生涯学習課天文台担当グループ

県立ぐんま天文台は1999年春の完成を目指して群馬県高山村に建設中である。現在は建物工事の真最中であり、建物本体は1999年1月に完成する見込みとなっている。1.5 m 反射望遠鏡本体は既に完成しており、来年1月の建物の引渡しの直後から設置作業に入る予定である。また、1.5 m 望遠鏡を補完する0.6 m 望遠鏡や、高速ネットワークに接続されたコンピュータシステムの設置も時を同じくして開始される予定で、3月末日には大まかな作業は完了することになっている。

一般への公開は、1999年春の完成後のなるべく早い時期を目指している。当面は、一般向けの観望機能などの立ち上げが最優先し、本格的な観測装置の整備はこれと平行して行われることになる模様である。しかし、なるべく早期にこれらの機能も確立し、国内有数の観測機関としての活動も軌道にのせていきたいと考えている。1.5 m 望遠鏡に設置される最初期の観測装置として、広視野の可視 CCD カメラと近赤外線観測装置が望遠鏡の完成とほぼ同時期に導入されることになっている。

1998年7月現在において、作業の進展状況は概ね順調である。年会では、現時点での建設の進捗状況と、そこに設置される1999年春時点での設備状況について報告する。